

派遣業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	12～ 13	雪かきをしていた派遣先の店長を外に呼びに行った際に転倒し、右ひじを強打した。その際にパニック発作を起こし、緊急搬送され、肘にヒビが入っていることが分かった。	27	100 ～ 299
1	17～ 18	派遣先からの退社時に、自家用車に乗車するため敷地内の駐車場を歩行中、足を滑らせて左臀部および左大腿部を強打した（左股関節ヒビ、軟骨の先端欠損）。	27	—
1	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は当センターにおいて医療品の仕分け、たたみ作業に従事。甲は、作業場の通路を同僚と並び歩行中に、甲が同僚の前に出ようと追いつき越そうとした際、同僚の右足に甲の左足が引っ掛かり、前方へ転倒し、床に右大腿部を打ちつけ受傷した。	58	500 ～ 999
1	22～ 23	派遣先にて就業を終え、同じ敷地内にある寮へ帰る途中、周辺が暗かったためつまづき、足を捻り転倒してしまった。	26	1～9
1	17～ 18	玄関にて、雨で床が濡れており、足を滑らせ扉に頭を強打し転倒した。その際、転倒を防ごうと手をついたが、つき方が悪く、負傷した。	25	1～9
1	9～ 10	発掘現場にて、箕（み）を持つの移動中、発掘した穴につまずき転倒し、持っていた箕が左胸に当たり、肋骨を骨折した。	68	10～ 29
1	22～ 23	休憩中、外の喫煙室から食事を取るために食堂へ移動していた際に、通路に置いてあった箱に気付かず躓き、四つん這いになるように前のめりに倒れ、その際に右手の中指を床にぶつけた。	40	30～ 49
1	5～6	段差（20cm位）のある砂利の駐車場で、上段から下段へ降りる時、足を踏んでバランスを崩し転び、左足を負傷した。	41	30～ 49
		就労中、休憩時間となり、工場敷地内の薄暗い通路を歩行していたところ、通路		

1	3～4	横に置いてあった台車（長さ約3m）に誤って足を引っ掛けてしまい前方に転倒した。その際、右頭部・右頬・右膝・左太もも・脹脛を負傷した。	34	10～ 29
1	15～ 16	台車を押して空ケースを洗浄場所に運搬中、ドアのストッパーに左足を引っ掛けてしまい、左に半回転しながら脛部分を強打し、左腕と頭部も打撲した。大腿部が痛く動けない状態になり、大腿部骨折を負い、即日入院となった。	68	1～9
1	2～3	点呼を受けるため、自家用車から事務所へ向かう途中、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右腕を骨折した。	56	—
1	9～ 10	就業場所の敷地内駐車場にて、通勤車両から降車した時に足元の凍結に気付かず、滑って転倒し、右橈骨遠位端骨折となってしまった。	53	30～ 49
1	15～ 16	派遣就業先である倉庫内にて、商品のピッキング作業を行っていた際、リストを見ながら作業をしていたため誤って商品に躓き転倒し、右膝を強打し、右膝内側半月板・側副靱帯不全損傷、節骨内側骨挫傷、関節水腫を負った。	52	300 ～ 499
1	7～8	出勤時、就業場所の屋上駐車場に車を停めて徒歩で坂道を下り職場へ向かっていた際、雨で足を滑らせ転倒し、腰部と左肩を強打し受傷した。	59	100 ～ 299
1	8～9	就業先構内駐車場にて業務終了後、自身の車のフロントガラスの氷を溶かそうとしてフロントガラスにホースで水をかけていた。その後、車に乗り込もうとした際に路面の水が凍っている事に気付かず足滑らせた。その際に右手の手のひらをつくような体勢で転倒し、肘の関節から手のひらまでの筋肉と筋を痛める形になった。	62	—
1	15～ 16	作業説明の際、二階倉庫に向かう必要があったので、二階倉庫に職場の社員と向かった。説明が終わり倉庫から出て階段を下りる際、後ろを向いて社員に話しかけたとき、一瞬脇見をしてしまったため、階下の床にあったパレットに躓き転倒し、手をつき骨折した。パレットは高さ15cmで階段幅より広く階段との間隔は25cm程だった。	54	—
2	21～22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際にとっさに手をついてしまった事により	50	300 ～

		強打し打撲となった。		499
2	15~16	ビニールが水で滑り転倒、を踏んでしまい、ビニールが水で滑り転倒、尾?骨を床に強打した。	26	100 ~ 299
2	11~12	ビル工事現場内において、トラックが場外へ出ようとした際、トラック運転手が後方確認を行わずにバックをして出ようとした為、安全確認のため咄嗟に後方に回ろうとした際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災した。	67	1000 ~ 9999
2	7~8	庭にある物置からゴミ出しの作業をしている時、石畳のところでゴミの重さでバランスを崩し転倒した。右足首脱臼骨折をして手術をした。	64	500 ~ 999
2	12~13	病院内での配膳業務中、派遣先の男性社員と接触し、左腰から横向きに転倒した。転倒する際に身体を支えようと思い、左肘から倒れ左脇、左こめかみを床に打ちつけた。意識ははっきりしていたが強打したことからその場から動けず、同病院内で診療を受けた。	60	10~ 29
2	11~12	派遣先事業所にて、工場内ライン作業中に荷物を積んだ台車を避けながら隣のラインへ移動をしようとした際に、床に油カスが落ちており、足を滑らせ、転倒し右手首から地面についたために骨折をした。	51	—
2	18~19	社命により、派遣先事業場にて、ピッキング作業中、小走りで移動した際に躓き転倒した際に右肘、右足、右手小指を床に強打し、負傷したものである。	59	30~ 49
2	11~12	利用者様をベッドから車椅子に移乗する準備をした時、バランスを崩し後ろ側に倒れ込み負傷した。	20	—
2	20~21	送迎バスにて出社時に、バス降車後数歩歩いた後、ふらつく様に転倒した。その際、駐車場アスファルトにて顔面を打ち付け負傷した。被災者には持病（糖尿病）があり過去にも低血糖状態となり、何度かふらつきを発症している。	49	300 ~ 499
2	19~20	勤務終了後、派遣先敷地内駐車場に停めてある自家用車に向かおうと玄関出入口から駐車場に続くなだらかな傾斜のある通路を歩いていた際、暗くて足元が見えなかった為通路端10cm程高くなった部分に足を引っ掛け、通路端から50cm程段差	43	100 ~

		のある駐車場側に自重が掛かるように右腕から落ちた。通路を照らす照明は玄関出入口にあるが、事故当時は消灯していた為足元が見えなかった。		299
2	9~10	事業場のプレス工場で、2人1組での作業中、建材の上のビニールをはがし、ビニールを左手に持ったまま建材を運び、建材を置いた後に、歩行している最中に左手に持ったままであったビニールを自ら踏んで後ろに転倒して、左肘と左手を地面に強打してしまった。	44	1~9
2	19~20	加工した製品が入ったかごを積み上げようとしたところ（3段目）、かごが2段目のかごにつかえてしまい、バランスを崩して転倒した際、右手ついて受傷した。	28	30~ 49
2	10~11	当月就業中、転んだ時の腰痛が次第に悪化した。入浴介助、移乗を毎日行っており、翌々月の起床時から腰の痛みがひどくなり、出勤していたがその後も痛みが続く為通院した。入浴介助業務は、1日6名前後1人で約20分程で基本的には1人で行うが腰痛があったため2人で行うように対応した。移乗業務は、約40~55kg程の方をベッドから車椅子に移乗し中腰で抱きかかえ風呂に入れる。	49	100 ~ 299
2	13~14	病院内事務室にて、事務作業を終え椅子から立ち上がろうとしたところ、隣の椅子に足を引っ掛け転倒し、右足首を捻ってしまった。患者を待たせしていた焦りから、本人の不注意で発生してしまった。周囲に視界を遮るものや事故に繋がるようなものは置いていなかった。	38	100 ~ 299
2	16~17	派遣先の児童クラブにて保育補助業務に従事中、屋内で児童とボール遊びをしていたところ転倒し左手首を複雑骨折した。	67	—
2	14~15	コンテナ洗浄ラインで、コンテナに付いているシールを薬剤により剥がす作業をしていたところ、床に薬剤にて溶けたシールが落ちていたため、滑りやすい状態になっており、移動中、滑ってしまい、手をついた際に右手首を負傷した。	56	50~ 99
2	10~11	パレットに積まれた荷物にラップを巻きつける作業中、足元に置かれていたハンドリフトに躓き、後ろ向きに転倒した。転倒時、頭部・腰部・背中を床に打ち、受傷した。	27	300 ~ 499
2	10~11	次の製造アイテムの具材等準備時、アルコールが入った容器を取りに行き元の場所に戻ろうとしたが、ダスターを持って行かなければいけない事に気づき、ダス	70	100 ~

		ターを手に取り、振り返った際に、折り畳作業台の脚に引っ掛かりそのまま膝から転倒した。		299
2	5~6	派遣先内パット洗浄室にて洗浄後のパットを運搬していた際、室内の床が濡れていた為、誤って足を滑らせて転倒し、負傷し、左側頭部、左肩、左腰側面を挫創、捻挫を負った。	41	300 ～ 499
2	15~16	作業現場にて、溶接作業を行う為に工具を棚へ取りに行く際に、天井部分からつり下がっていた溶接機器（ホース状）に足を引っ掛けて、コンクリートの床へ右肘から転倒し、強打した。	38	300 ～ 499
2	13~14	硬綿を運搬中、床に敷いてあるパレットに右足が引っ掛かり転倒した。転倒時、左足を捻り受傷した。	43	100 ～ 299
2	10~11	派遣先の調理場にて作業中、お弁当用保温容器を取りに行き戻る際、つい小走りになり、濡れていた排水路の蓋の上で足を滑らせ転倒した。腰に痛みはあったが、そのまま作業を行った。	44	50～ 99
2	21~22	出張中、懇親会終了後、車に乗り合わせてホテルに戻るために、懇親会会場の駐車場に徒歩で移動中、側溝で足を踏み外し転倒し、左腕を強く打った。	35	10～ 29
2	13~14	第三工場おにぎり包装3部署おにぎり包装1号機にて検品中、フィルムの柄ずれが発生したので修正の為操作盤まで移動の際、床に落ちていた海苔を踏み転倒し、右手首を負傷した。	48	100 ～ 299
3	13~14	放課後、児童クラブで就業中、施設内廊下において子どもが会員に抱きつこうと走ってきたが、子どもを受けとめた際にバランスを崩し転倒、床に頭部を強打し出血。圧迫により止血を行い10分程度で出血は止まり、意識もはっきりしていた。	69	50～ 99
3	17~18	作業終了後、現場事務所から別事務所にタイムカードを押しに向かう際、現場事務所近くの側溝のグレーチングが100mm～150mm開いている所で左足をとられ転倒した。	60	100 ～ 299
3	0~1	バット（容器）を冷凍庫に運んでいるときに足を滑らせて転倒し被災した。	55	10～

				29
3	3~4	工場内のチルド室でパックのご飯ならし作業中に手に、汗をかいたので手袋を取り替えに行く途中、床が油っぽく滑ってしまい、手をついたときに右手首を怪我した。	53	30~ 49
3	9~10	台車に左足を引っかけて転倒し、左足を骨折した。	53	30~ 49
3	12~13	食事介助中、利用者の隣の椅子に座り介助をしながら、自身も食事を取っていた。椅子から立ち上がって介助し、座ろうとした際、隣に来たヘルプの職員が椅子を移動させていたため後ろを確認せずに座ったところ、座り損ねて転倒した。転倒時、テーブルの角に後頭部、床に腰部・臀部を強打し受傷した。	48	100 ~ 299
3	11~12	事業場内で、作業の準備として荷物（冊子150部、高さ20~30cm位）を机へ運んでいた際にバランスを崩し、左ひざを床に強打した。	46	30~ 49
3	16~17	タイムカードのサインを貰うため階段を下りていた時、最後の一段を踏み外し転倒し、右足首と左膝を捻り受傷した。	53	500 ~ 999
3	5~6	派遣先工場構内の清掃中、バケツを取りに行き台車に乗せて戻る途中、パネルを操作していた別の社員が不意に振り返り、ぶつかりそうになったため、慌てて立ち止まった際に後ろに転倒し、手をついてしまい、手首を痛めた。	51	500 ~ 999
3	12~13	作業場の廊下を歩いていた際、床のゴムマットに摩擦で足が引っかかり転倒しそうになった。とっさに転倒しないように壁に手をついて身体を支えようとしたが、勢いが強かったためそのまま左肩を脱臼した。	43	30~ 49
3	12~13	スタッフとランチ面談のため目的地に向かう途中、左足を外側に捻った。	45	100 ~ 299
3	11~12	派遣先である工場にて、ごみ捨てるために生ゴミ処理室に向かう途中の前室廊下で台車を跨ごうとしたところ、バランスを崩し前のめりに転倒した。その際、積み重なった番重（高さ60cm程）にみぞおちを打ち付け動けなくなった。	48	100 ~ 299

3	14~15	構内を移動中、12号館入り口を歩行したところドアストッパーの金具に躓き転倒し、左膝を打った。	43	1~9
3	21~22	宴会場入口にて会場内に入ろうとした際、入口前の床が少し濡れており、滑って転倒し、床で左手を強打したため、左手小指を負傷した。	36	50~99
3	13~14	豚の内蔵生冷室にて、内蔵入りの荷物を運び入れた際に滑って転倒し、後頭部を打った。	51	300~499
4	17~18	1F到着ロビー付近にてお客様と一緒に帰着する便への搭乗手続き後、搭乗口へ向かう際に滑って足を取られ、前のめりに肘から転倒し、左ひじを骨折した。	54	1~9
4	21~22	派遣先の工場内T3ライン盛付室内のトレイ洗浄機付近において、使用済みの調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着き負傷した。ホースで番重を水洗いする作業のため床が濡れていて、力を入れた際に転倒した。（防水滑り止め長ぐつ使用、すり減りなし）	68	30~49
4	14~15	2階発送作業フロアにて、化粧品等商品のピッキング作業中、商品を積むパレットが密集しており、足を取られて転倒し、左脇下・右膝を打ちつける。転倒時、左脇下に商品の一部が突き刺さるような形になり、腫れ・痛みがひかない状況が続いている。	56	50~99
4	11~12	荷物を配達している際に徒歩にて移動中、足元をよく見ていなかったために段差に躓き転倒し、右手を強打し、右手首剥離骨折を負った。	60	500~999
4	19~20	構内にて大型トラックへの小物を積み込み終えた後、足を滑らせ転倒した。当初は右足が少々痛い程度で歩行に問題もなかったが、後日に骨折が判明した。	65	300~499
4	11~12	第一製造課第一製造係HD311組にて、スキット上のユニットの外壁取り付け後に、定型シールの取り付けと妻面の定型シールをローラーで挿入する作業中、ユニット下部を馴らし終わり立ち上がろうとしたところ、スキットが動いた為バランスを崩し、スキットから30cm下の床へ右足から着地した際、床面配管に右足が	34	100~299

		乗り足を捻り負傷した。		
4	11～ 12	外壁組立工程にて外壁取り付け後、定型シールの取り付け作業を行っていた。進行方向後ろ側の妻面の定型シールをローラーで挿入し、下部を馴らし終わり立ち上がろうとした際に、スキットが早送りになったため、スキット後方へバランスを崩しスキットから床面に右足から着地し、床面配管に右足が乗り足を捻って転倒した。	34	100 ～ 299
4	13～ 14	倉庫内（A棟）にて次の箱にかんばんを挿しに移動する際、足元にあったPPバンドを跨ごうとした。その際、他の作業者がそのPPバンドを製品に固縛するため引っ張ったところ、跨ごうとした本人の右足に引っ掛かり右前方に転倒し、右膝から落ちて右膝蓋骨を骨折した。	55	1～9
4	18～ 19	航空コンテナからの貨物の搬出作業中、コンテナ内でマグロが梱包されたカートンに巻かれているPPバンドを持ってカートンを移動させようとしたところ、PPバンドが切れ、反動で後方に仰け反り誤って転倒し、手を地面につき捻った。	41	10～ 29
4	12～ 13	A棟にてパレット上に空箱を集め、荷崩れ防止の為のラップを巻いている最中に本人が置いた空箱につまずき転倒し、膝から落ちた。	47	30～ 49
4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	50～ 99
4	9～ 10	朝礼中に気分が悪くなり、御手洗に向かっている時に意識が遠くなり、そのまま失神し転倒し、顔面を強打した。	27	300 ～ 499
4	7～8	徒歩で工場敷地内の横断歩道を走って渡った後に、通常歩行したら躓いて右ひざを地面にぶつけ負傷した。	22	100 ～ 299
4	3～4	当支店構内において仕分け作業をしている際に、トラックの荷台とホームを繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	30～ 49

5	15～ 16	会社の敷地内にて社用車に道具を積み込んでいる最中、躓きバランスを崩し転倒し、左手が右に当たり左手の甲を捻挫および打撲した。	43	100 ～ 299
5	8～9	出勤時、当院敷地内の駐輪場にて路面の段差に躓き転倒し、左前腕部と右膝を路面に強打した。	26	1000 ～ 9999
5	11～ 12	派遣先において、機械に原料の投入作業中、原料の入った袋（重さ約12kg）を持ち上げたところ、床面が油で滑りやすかった為、バランスを崩して転倒した際、左側に捻った格好となり、左手首と左大腿骨を骨折した。	69	50～ 99
5	13～ 14	派遣先の梱包室で段ボール箱作成・ラベル貼り作業中に、従業員から段ボール箱の補充を頼まれ、1メートル前後に積み上げられた箱を両手で持ち、床に置いてあるパレットの上に運んでいる最中、パレットとパレットの間の隙間に足をとられ転倒し、右手首を打撲した。	42	100 ～ 299
5	15～ 16	休憩時間になり休憩室へ向かう途中の通路にて、濡れた床に足を滑らせて転倒した。後ろに倒れ込むような形になり、頭をかばうため手をついた際に右手首を骨折した。	55	300 ～ 499
5	14～ 15	建築現場にガラス入りのサッシを運搬している作業中に約40cm段差のある玄関で置いてある資材類を避けながら後ろ向きで進んでいる時に躓いて右足首をねじりながら転倒し、右足首を打撲・捻挫する。	51	100 ～ 299
5	13～ 14	座って研修を受けていて、立ち上がった際、よろけて左足を挫いて捻挫した。	25	1000 ～ 9999
5	11～ 12	配達に伺った際、入口の階段を踏み外し段差の角に左足の膝下部を打ちつけた。足元不確認により発生したものである。	64	500 ～ 999
5	15～ 16	フォークリフトでポリ箱に入った材料を運搬後、空のポリ箱を運ぶためPPバンドで固定し、余った部分を切ろうとハサミを持ちに行った時、空箱より垂れた床の	32	100 ～

		油で滑り、左膝を捻って転倒した。		299
5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	1000 ～ 9999
5	2～3	リーチ駐車場所にて定位置にリーチを停止させ降車する際、不用意に着地したため左足外側から着地する形となりバランスを崩し、壁際に設置された留め具とリーチ運転台下の隙間に足が入り、左足に荷重がかかり足の骨にひびが入った。	39	30～ 49
5	5～6	冷生地包装番重ストッカーにて作業の際、足元を滑らせ転倒し、右手を床につき負傷した。	46	100 ～ 299
5	10～ 11	入浴介助時、風呂場で利用者を2人介助中（車椅子からストレッチャーに移動）施設しているサンダルを着用していたが、床が濡れていたため、バランスを崩した時に肋骨を骨折した。	38	100 ～ 299
5	8～9	就業場所において、作業場へ向かうため、他の従業員と通路を歩いていたところ、前方から別の従業員がハンドリフトでパレットを運んできた。通路を譲るために通路の外（作業エリア）に避けようと目視確認を行わずに、右斜め後方に後退したところ所定の場所に置いてあった他のパレット（横110cm×縦110cm×高さ15cm）に気付かず、右足を引っ掛け転倒した。その際、身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、パレット上に強く打ちつけて負傷した。本人の判断でしばらく様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	45	1000 ～ 9999
5	11～ 12	作業終了後、材料が残った為、その材料を二次加工の冷蔵庫に戻そうとして二次加工に行き、そのあと自分の部署に戻る時、足元に台車があるのに気付かず台車に躓き、顔面から転倒してしまい、歯2本（前歯）を折り、床に手をついた際に左手首も打ってしまった。	66	100 ～ 299
5	2～3	1Fフライヤー開梱室で平台車を右手で1台持ち部屋を出ようとしたところ、部屋出入口の手前で滑り右横向きに転倒し、咄嗟に右手で受け身をとったところ負傷した。	65	30～ 49

6	19～ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	10～ 29
6	10～ 11	二人一組で作業中、相手がしゃがんで作業をしている後方を通り抜けようとしたところ、相手の足に躓き転倒し、近くに設置されてるプラスチック製の容器に頭部を強打した。しばらく自宅で安静にしていたが、体調が悪化し、頸椎6番骨折との診断を受ける。	58	100 ～ 299
6	11～ 12	工場内で、商品の箱詰め作業前のラベルチェックをしている際、先方社員に管理表との突き合い作業をお願いしようと呼びに行ったところ、作業場内に置いてある商品が積まれたパレットに躓き、転倒を防ごうと出した右手で商品の入っている箱を突いてしまった。	54	500 ～ 999
6	13～ 14	倉庫内作業中、目の高さにある商品の詳細を確認しながら移動していた際に、右足をパレットの角に引っ掛け、そのまま倒れこみ、右膝をパレットの側面の角に打ちつけてしまった。	32	10～ 29
6	9～ 10	就業先パントリー内にて準備作業中、清掃者がいたが、モップ掛けをしているのを知らず、その濡れた床で足を滑らせ転倒した。制服がビチャビチャになる程であり、左腰、左首、左足を負傷した。	49	1000 ～ 9999
6	18～ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	100 ～ 299
6	9～ 10	派遣先において、冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に、持って来ていた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。	28	50～ 99
6	9～	派遣先にて、鑄造作業に従事中、ダイカストマシンの下部ピットに落ちているスクラップを回収（ピット内清掃作業）している時、ピット内の足元に転がっていたスクラップ（20cm×20cm程度のもの）を踏んで右足首を挫き、バランスを崩し	30	100 ～

	10	て転倒しそうになった為、咄嗟に左手で受け身をとった時、ピットの壁に左小指を打ちつけ受傷した。		299
6	13～ 14	踏み台の上での作業が終わり、降りる時に左足首を内側に捻り、左側へ倒れた。足首が腫れ、靱帯を損傷した。	35	50～ 99
6	13～ 14	構内で、階段のステップとステップの間に足が引っ掛かり、尻もちをついた際に階段のステップで右臀部を打撲した。	53	10～ 29
6	9～ 10	開店前作業中、売場で足が滑り転倒し、手をついた時に手首を捻ってしまった。床濡れ等ではなく、急いでいて、靴底がすり減っていた為、曲がり角で転倒してしまった。	65	300 ～ 499
6	9～ 10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	300 ～ 499
6	7～8	退社時に工場から駐車場へ向かう際、階段を踏み外し、前のめりに転倒した。その際に左手を階段に打ちつけ、左手甲部分の腫れと痛みがあり、左手首を骨折した。	55	300 ～ 499
6	22～ 23	仕分け商品の積込準備作業中、搬出口付近の床面が寒暖差による湿気で濡れており、足を滑らせて転倒した際、左手首をつき骨折してしまった。	49	50～ 99
6	19～ 20	構内で通箱を運搬中、足元のローリーに気付かず、足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、腰を強打したが、すぐに立ち上がり仕事を続けた。帰宅後、腰に痛みが起こった。診察の結果、骨等に異常は見られず、薬投与で安静を要すことになった。	69	10～ 29
6	9～ 10	和菓子製造室で、使用した桜の葉を入れていた容器を片づけようとシンクに向かっていた際に、部屋の出口付近に置いてあった台車に気付かず、躓き転倒した時に左肘を床に強打し、負傷した。	54	100 ～ 299
6	1～2	4輪式のカゴ車を片付けている際、引いていたカゴ車が他のカゴ車にぶつかり、バランスを崩し、カゴ車を掴んだまま転倒した。転倒時に右足首を捻り受傷した。患部が酷く腫れた。	22	300 ～ 499

6	13～14	高さ50cm踏み台を使用して商品を陳列している際に、バランスを崩し転倒した。受け身を取る際に、左膝を床に強打した。動く事が出来ず、救急車を呼び病院へ搬送された。診断の結果、左脛骨高原骨折であった。昇り降りをくり返して、バランスを崩したとのことである。	52	300～499
7	10～11	就業先の選課場内にてトマトのサイズごとの選別、箱詰め作業を行っているとき、人がすれ違える程度の幅での作業場にて、働いている人員や機械が多く常にまわりに注意を払いながら作業をする状態となる。自分の持ち場の業務が一段落し他の場所を手伝いに向かおうと振り向き出そうとしたと同時に、作業していた先方も方向転換したところ、その足に躓き前のめりに倒れる。右ひざから地面に付き、その後左手が地面に付いた模様。	67	50～99
7	11～12	フライドポテトを加工する作業場内で、液体塩素を入れたバケツを右手で持ち歩いて移動中、床にボルト（止め具）が出てることに気が付かず、躓いて転倒。左膝から倒れこみ右側肋骨と右顔面頬を強打し、検査の結果、左膝蓋骨骨折と診断された。	58	300～499
7	22～23	派遣先内において、ポジショナー（高さ約1m）メインフレーム裏面仕上げ溶接作業中に床面に降りる際、左足をブラケットに掛けたが、掛かりが浅く滑って後方に倒れ、左手でパイプをつかんだが支えきれずに、後方のブラケットにヘルメット後部を打ちつけた後、ヘルメットバンドとスクリューが接触、床面に臀部を打ちつけた。	32	30～49
7	18～19	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	56	50～99
7	11～12	側溝の作業中に別の側溝に移動する際、段差につまずいて転倒し、左手を突き負傷した。清掃担当のため、屋外にある側溝を清掃作業していた時に発生したもの。	64	30～49
7	22～23	派遣先事業所内の冷凍庫内にて野菜などを冷やす蓄冷材のパックを台車に載せて移動中に、地面が凍結していたため誤って左足を滑らせ、左の肩から胸にかけて転倒した際に左側の鎖骨を骨折してしまった。	27	1000～9999

7	11~12	側溝の作業中に別の側溝に移動する際、段差につまずいて転倒し左手を突き負傷した。	64	300 ～ 499
7	11~12	作業中、脚立の上に乗り機械の横に有る、円筒形のタンクの周りのカバーを外している時に脚立ごと倒れて、右手をついたため、右手首あたりから曲がり激痛がはしった。	53	10～ 29
7	11~12	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせて転倒した。その際左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	50	30～ 49
7	15~16	作業開始前の準備中、洗浄機後ろに敷いてあるステンレスのスノコに足を取られ転倒、その際に準備していたラック及び台車に左脇腹を強打し肋骨を折ってしまった。	57	10～ 29
7	23~24	飼料製造工程中で、原料の入った2段積み重ねたメッシュコンテナをフォークリフトで運ぶときに、積み重ね状態が少しずれたので、手でずれを直そうとして、押したり引いたりして、誤って上下のメッシュコンテナの間に左手中指を挟んでしまった。タイ、永住者	49	300 ～ 499
7	23~24	県道側の傾斜地にて草刈を肩掛け機を使い作業中足を滑らし、下の県道に転落してしまい、その際肩掛け機の刃が右足首に当たり、2ヶ所裂傷してしまい傷口を縫合した。	56	500 ～ 999
7	15~16	商品（冷蔵食品）を棚補充するために、カゴ車に積載された商品が入ったコンテナをおろす際、胸より高い位置の2段を1度に取り、腰に痛みが走ったが、歩く事もできたため自力で帰宅した。	30	1000 ～ 9999
7	1~2	スーパーマーケットで勤務中、逃走万引き犯人を走って追いかけていた時、駐車場入り口の車止めに足が引っかかってしまい、転倒してしまい右腕上腕を骨折した。	59	100 ～ 299
7	15~16	派遣先において、サンダーを使用して半導体（円形の銅板、重さ約20kg）の研磨作業終了後、後ろの台に置こうとしたところ、作業台の下から伸びているサン	25	10～

		ダーのコードに足を引っ掛け転倒した際、銅板を両手で持っていたため、床面と銅板の間に左手中指が挟まれ負傷、また転倒の際右腕も負傷した。		29
7	16~17	アジフライを揚げ終え、ザルからバットに移し替える際、床に敷いてあったダンボールにつまずき、フライヤーに左腕を突っ込んで左肘付近から左手首にかけて温熱熱傷した。	40	50~ 99
7	16~17	食料工場において屋外から屋内に冷凍された原料を送り流す作業を行っている際に空になった袋から空気を抜き圧縮しようとした際にバランスをくずし鉄製のカゴの角に左側の脇腹を打ち痛みがある。	62	30~ 49
7	16~17	洗浄室へ応援のため、移動中。足がもつれつまずき、前のめりに転倒し、左膝を床面にぶつけた。特に床面に段差があるわけでもなく、濡れていたり、粉等の落下物もなく、不安全な要素はなく、ただ通路を歩いていた状況だった。	56	100 ~ 299
7	6~7	チルド加工室から退出する際に、液こぼれを他の従業員が清掃作業し、終了した場所を通行したところ、足を滑らせ転倒してしまった。その際に手をついて右手首をフローアーに打ち付けてしまった。	47	50~ 99
7	18~19	CVT加工ラインでの作業終了時、スポットクーラーに溜まった排水（ドレン水、ポリタンク18?入）を廃棄した後、作業場に戻ろうとした際に足ふきマットが滑り、ポリタンクを持ったまま後方に転倒した際に右手首を骨折したもの。	53	100 ~ 299
7	11~12	アイスクリーム製造、バイターラインB2カートナー業務に従事中、充填機とカートナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴り、確認・復旧のため、急ぎ足で角を右に曲がり接続部に移動しようとした際バランスを崩し、左足に体重がかかり左足を捻った状態で転じ、骨折した。	43	100 ~ 299
7	16~17	工場内にて、原料の砂10~15kgの入ったプラスチック製の箱を作業場から処分場所までの約15mの距離を運ぶ際に、床に散乱していた砂で足を滑らせ前のめりに転倒した。起き上がろうとした時に腰から左足にかけて痛みを覚えたが、その後、通常通り勤務を継続した。後日、痛みが激しくなり、左坐骨神経痛と診断された。	37	100 ~ 299
7	8~9	派遣先事業所（病院）にて作業中、通路で保護シートに足が引っかかり転倒し	55	50~

		た。		99
7	0~1	閉店間際に客が入り始め、焦っていた。不足していた食材を取りに、急いで調理場の冷蔵庫へ向かう際に右足が滑り、左足を折り曲げた状態で転倒した。その拍子に左足くるぶしに負荷がかかり負傷した。調理場のタイルが濡れており、滑りやすい状態だった。	52	10~ 29
7	13~ 14	資材倉庫2階にて、現場内提示物張り替え終了後、通路に戻る際、足元に高さ20cmのパレットが置いてあり、左手に書類を持ったまま跨ぎ通ろうとしたところ、右足つま先が引っ掛かり右肩より前方へ転倒し負傷した。	50	100 ~ 299
7	16~ 17	派遣先において、商品が積まれたパレットへのラップ巻き作業中、最後に製品の上を覆うため隣のパレットとの間を通った際、パレットの穴（フォークリフトの爪を差す部分）に右足が引っ掛かり転倒した。その際、ラップの芯を握ったまま右手から床に倒れたため、右手中指と環指の第二関節辺りを負傷した。被災当日は、痛みが治まると判断し様子を見たが、痛みが悪化した。	50	100 ~ 299
7	19~ 20	就業先の機械チーム内にて、管理板を片付ける際、本来は通行禁止である単発機と単発機の間を通り抜けたときに、足元のエアホースか何かの管に足を引っ掛け転倒し、左腕と右膝を強打し負傷した。	59	100 ~ 299
7	12~ 13	患者を案内するためにエレベーター前に集めていた際、患者の車椅子フットレストに躓き転倒し、床面に右膝を打って受傷した。	67	100 ~ 299
7	10~ 11	個人宅にて引越しの荷物の搬出作業中、ダンボールを二つ重ねて（重さ合計8~10kg）運んでいたところ、抱えたダンボールで視界が悪かったため、エントランス部分の段差（14~15cm）に気づかず躓いてしまい負傷した。	42	50~ 99
7	8~9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	500 ~ 999
7	11~	工場内道路を自転車で走行中、道路を横断するグレーチングに幅35mmの隙間があり、自転車の前輪が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。そのときに右足首	28	100 ~

	12	を捻って倒れ、右足首を骨折した。被災者は、ヘルメット・安全靴を着用していた。		299
7	9～10	派遣作業員として、成形機械のオペレーションおよびバリ取り作業などに従事していたとき、床に高低差のある配管カバー上で、誤って滑り、転倒してしまい、左腕を床に打ちつけた。	40	300～499
7	15～16	病院屋上の洗濯物干し場で、洗濯物を取り込む際、強風にあおられた大判タオルに右足が引っ掛かり転倒し、右足小指を骨折した。	60	100～299
7	8～9	派遣先にて、和菓子の検品・梱包・箱詰め作業に従事中、製品を入れる段ボール箱（約70cm×40cm）を持って箱詰めの工程へ移動する際、足元が死角になるため、運搬用パレットに気付かず右足を躓いた。転倒しないように左足で踏ん張ったとき、左足を捻って受傷した。	54	100～299
7	15～16	工程間で台車の交換作業終了後、次工程に行こうとしたが、作業指示パトランプが点灯していなかったため確認しようと歩行したとき、台車の牽引フックを十分に回り込んだと思い込んで、足元の注意が疎かになってしまった。そのため左足を牽引フックにかすめてしまい、バランスを崩し、右足膝部を床に強打し負傷した。	40	100～299
7	5～6	作業場にて積み込み作業中、薄暗かったためフォークリフトの爪に躓き、作業台に左脇腹を強打した。	45	300～499
7	14～15	トイレへ向かうため、階段を降下中、足を滑らせ転倒した。	34	500～999
7	10～11	派遣先にて商品の仕分け作業中、パレットの奥にダンボールを置き、後ろ向きのままパレットから降りようとしたとき、左足つま先をパレットの隙間に引っ掛けてバランスを崩してしまい、右膝をパレットに打ちつけて痛めた。	37	100～299
		原料加工ラインの計量場に材料を保存する為のビニールを取りに行った。ビニー		100

9	17～ 18	ルは薄暗い所においてあり、置き場所がわかっていた為に電気はつけなかった。 その時に濡れていた床に右足をすべらせ転倒した。 その際に右ひじを強くつき、 右腕があがらなくなった。	52	～ 299
9	10～ 11	派遣先の工場内のクレープ製造ライン上で、トレーに足を引っ掛けて転倒し受傷 した。	48	30～ 49
9	5～6	派遣先の指示により出張中、宿泊先から出発時、バスの中で朝食を食べるため に、ホテル近くのコンビニへ行こうとした。 徒歩10分程度かかるためホテルの方 より自転車を貸すと言われ、自転車にてコンビニへ向かい、コンビニの駐車場に 止まった際にバランスを崩し左へ転倒、そのまま病院へ行き骨折と診断された。	55	300 ～ 499
9	8～9	ライン脇で作業用台車の往来を避け位置を変えながら作業見学を行っていた。 作 業用台車が近づいて来た為、パイプ組棚②を回って元の位置へ戻ろうと移動した 際、最下部に置いてある金属パイプ先端が右足作業ズボンに引っ掛かりバランス を崩し左前方へ転倒。 左側にあった部品組棚③の支柱（上から3本目の横支柱、 長さ約1.5m、高さ約1m）にヘルメットの左側頭部と眼鏡が衝突した。	40	100 ～ 299
9	10～ 11	派遣先である倉庫内にて、ゴミ箱用のダンボールが並んでいる通路を歩行中、足 がダンボールに引っかかってしまい、転びそうになり踏みとどまろうとしたが通 路が狭かった為、バランスを崩し両手を突いて転倒した。 転倒した先にパレット に積まれていた冊子にあごをぶつけ、地面に左ひざ、右ひざをぶつけ受傷した。	41	30～ 49
9	9～ 10	派遣先の請負先である総合病院で就労中、歩いていたところ躓いて転倒し左肘を 強打した。（障害物はなかった）	69	100 ～ 299
9	15～ 16	被災者は、コンクリートの補修作業を行っていた。 午後の休憩を取り、その後片 付け作業を始めた。 1段目のセグメント上に置いてあった脚立（A）を片付ける 為、脚立（B）を使ってセグメントの上に昇った。 セグメント上に置いてあった 脚立（A）を下ろし降りる際に脚立（A）を使用し下りた。 脚立（A）が斜めに なっていたことに気付かず、足をかけた際に転倒した。 転倒した際に右掌から着 地した為、その反動で右肘を骨折、脱臼の怪我を負った。 当時、片付け作業を 行っていた為、転倒時の目撃者は居なかった。 他作業者が片付けた荷物を持って	35	300 ～ 499

		戻ってきた所、うずくまっている被災者を発見、救急車を要請した。		
9	15～16	当社派遣先B棟プレス機投入口西側に於いてドライワイパー（床用水切り）を使用して、紐切り済みの新聞をプレス機コンベアに押し込む作業を行っていた。その作業中、左足が紙の上で滑り、左足をひねり尻餅をついて転倒し左足首上部骨折（腓骨の外果付近の骨折とのこと）と診断された。	66	100～299
9	15～16	ミキサーボール洗浄の為、ミキサーボールを台車に載せ、右手で台車を押しながら左手でミキサーボールを抑えていた。台車の車輪が床の穴にはまって転倒しそうになり、横にあった他の台車に体を支えようとした際、転倒した。その時、左手親指がミキサーボールを台車の間に挟まり、受傷（骨折）した。	61	—
9	0～1	自身の現場へ向かう歩行中、構内通路の油の拭き残しで右足を滑らせ転倒。転倒時、通路脇に置いてあったパンフレットにぶつかり、左膝を床面に打ち受傷した。	62	500～999
9	12～13	派遣社員が、製造部ホルモン工程にて、洗浄したホルモンを入れる為の空箱を台車から台車に移動させる際、誤って足下にある台車に左足を乗せてしまい転倒、肋骨に骨折を負った。	58	300～499
9	0～1	派遣先工場内にて、部品の空箱（1箱）をゴミ箱まで捨てに行く際、小走りで向かった。ゴミ箱直前で停止する事ができず右足首をひねり、右側へ転倒した。	33	100～299
9	4～5	労働者派遣先である工場4F北ラインにて、現場の備品を移動させる作業を行っていたところ、床が濡れていたりゲル化剤の粉が残存して滑りやすくなっており転倒、後頭部を強打した。	42	100～299
9	15～16	炊き出し用の釜のスープの濃度チェックをする為、お玉を取り3段の階段を下りる際、段を踏みはずし転んで、腰と臀部を打った。	64	100～299
9	14～15	特別養護老人ホームの入居者とのレクリエーションを見守っていた時、入居者が使用していた風船がフロアに転がったので、それを拾おうとしたところ、入居者の車イスに足を引っかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	53	50～99

10	14～ 15	乗馬クラブ内の各種運搬作業中に高い箇所からの荷受け作業時に、足元にあった木材に乗って作業していたところ、木材の一部に穴が開いており、その穴に足首がはまり込み、その部分を中心として転倒した結果、骨折となった。	36	10～ 29
10	10～ 11	集荷場にて商品チェックの作業を完了し、次の業務へ移る際に振り返ったところ、後方に置いてあったカートに気付かず足首をカートに引っ掛け転倒。（膝→腰→右肩→背中→右手首の順に倒れ最後、後方に置いてあった飲料ケースに頭部を打つ。）当日は痛みを堪え作業を続けたが、翌日迄痛みが残った。	46	300 ～ 499
10	18～ 19	工場において、業務終了前に敷地内のゴミ置き場へビニールゴミを置きに行った際、大雨が降っていて足元を滑らせてしまった。この時、ゴミ置き場のフェンスに胸を強くぶつけて打った。土曜日の夕方の出来事で病院へ行けず、また、痛みはあったがただの打ち身だと思い我慢していた。翌々日の朝も我慢して出勤したが、業務に支障をきたす痛さだった。	43	50～ 99
10	16～ 17	派遣先事業所において、商品補充の作業中に床に置いてあった、平台車に取りつけてあったビニール紐を踏んだ事により転倒し、右頬、右手、右膝を床に打ち付け右膝骨挫傷の怪我をしてしまった。	35	30～ 49
10	11～ 12	エアコンコーナー付近売場通路にて、就業開始直後歩行中の方向転換の際、台風による大雨の影響で濡れて滑りやすくなった床、または自分の濡れた靴で足を滑らせ転倒し、顔面と左手、右膝を床に打ち負傷してしまった。	52	30～ 49
10	17～ 18	派遣先にて産業廃棄物を処理中、散乱している廃プラスチックを整理していた時、廃プラスチックに足を取られ後ろ向きに転倒し負傷してしまった。	54	50～ 99
10	10～ 11	マンションのエントランス下の階段の掃き掃除をしていたところ、端の低い階段につまずき、手首をひねった形で右手をつき、右手関節を骨折する。	68	500 ～ 999
10	10～ 11	被災者は派遣先においてワインのピッキング作業に従事していた。昼食後に喫煙室に向かおうと長椅子から立ち上がって歩き始めた際、長椅子の脚（座席部分から15cm程脚が飛び出ている形状）に左足を引っ掛けて転倒し、負傷した。なお、長椅子は背中側に壁、正面にテーブルが置かれた場所に配置されており、甲は身動きしづらい状態だった。	51	1～9

10	16～ 17	当日の就業場所である飲食店で接客サービス業務に従事中、濡れたタイル面に足が滑り転倒負傷した。	22	100 ～ 299
10	13～ 14	派遣先事業所にて、機内食を積んだカートを押して運搬していた際、カートのタイヤがシャッターロック用の溝にはまってしまい、転倒した。	26	300 ～ 499
10	14～ 15	チルド倉庫内にて、ピッキング作業中、足を滑らせ後方に転倒。商品を持っていた為、右手のみ床につき、右手首を骨折。	50	10～ 29
10	15～ 16	事務所内でコピーをした時、足元に通常は無いビニールが置いてあり、その上に乗ってしまい、しりもちをついた時、両手で支えようとして床についた右手と左手を商品の上についた。滑った時に足首と膝を捻った。	51	100 ～ 299
10	17～ 18	作業中、ダンボール箱（空）2個を両手で持って移動中、クールボックス用の配線に足を引っ掛け転倒。床に膝を打ち損傷。	70	300 ～ 499
10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷。	54	300 ～ 499
10	19～ 20	派遣先において、作業中に穴明機前から高周波焼入工程へ移動するときの事故。足元に敷いてあったマットで滑り、バランスを崩し転倒したとき、仕掛品が入っているポリ容器に背中を強打した。	37	300 ～ 499
10	18～ 19	3課4係の前工程にて加熱ゼネレータ付近で作業していた時、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き、操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	10～ 29
10	8～9	派遣先の物流倉庫で、朝礼を行う場所へ集まる途中に、床にあったエアホースに足を引っ掛け左手をついた。その後、2時間程作業を続けたが、左肘に痛みがあった。病院では、過去に左肘に骨折の跡があり、その箇所が痛んでおり、左肘関節捻挫と診断された。	46	10～ 29

10	9～10	派遣先にて、ゆで卵の製造作業に従事中、塩水に浸けたゆで卵のパレットが浮かないようにするための重り（約10kg）を持って冷蔵室に入った時、冷蔵室の床が塩水で濡れていることに気付かず、左足を滑らせ転倒。転倒の際、左足首を痛めたもの。	35	100～299
10	7～8	GPセンター（卵のパッキングセンター）内で、始業前準備を高さ30cm程の検品作業台の上で行っていた。そこから床に降りる際に、5cm程の溝へ右足を取られて転倒し、右足首をくじき、くるぶしを骨折した。	52	1～9
10	11～12	派遣先で商品の陳列作業中に、右手にペットボトルを持ったまま躓き転倒した。	67	50～99
10	16～17	就業先A棟1階SEM室にて、金属顕微鏡の順番待ちをしており、空いたので隣の椅子から顕微鏡手前の椅子に移ろうとした際に、物を取ろうとして、足かうまくつせず左足首を捻って転倒した。	44	100～299
10	17～18	施設からの送迎業務中、ご利用者様のご自宅のあるマンションの1階歩道にて、送迎を終えて車に戻る際に足元の段差に気付かず転倒、左足を負傷する。	45	100～299
10	16～17	5階駐車場北エスカレーター入口付近にて、ショッピングカート2台を運搬中、駐車スペースに設置されている車止めに気付かず膝から転倒し、床で強打した。	70	100～299
10	15～16	食堂でおやつの時間に利用者様の義歯を取りに行こうと急ぎ足になり、誤って転倒した際、体をかばおうとフロアーに手をつき、左手第2指腹側の皮肉がはがれ裂傷となった。	51	100～299
10	15～16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	100～299
10	17～	工場内に於いて、バイターライン（スティック型アイスキャンディーを製造する機械）の稼働準備のため、バケツ（殺菌用に塩素水が入っている）を準備しようとバイターラインと窒素トンネル（砕いたチョコレートを低温で冷やし、固める	68	30～

	18	機械)間の通路(幅約1m)を移動していた際、窒素トンネルの冷気がいつもより強く床面が凍結していたため、滑って後方に転倒し右手をついた瞬間右手首を骨折した。		49
10	16～17	1日の仕事終了し作業場の掃除をしていた時に立ち眩みを起こして作業場の床に設置してあるダンボール運搬用の大型ローラーコンベアのローラーの上に足を着いてしまい体を支え切れずに転倒した。当日そのまま帰宅したが夜になって腫れがひどくなった。左膝外側側副靱帯損傷の診断を受けた。	44	100～299
10	8～9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所に移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースを持ったまま左膝から転倒したため膝を強打した。	46	500～999
10	14～15	運動会に参加時、マシュマロキャッチ競技中に使用していた粉が床に落下していたため、右足を滑らせた。右側頭部から倒れそうになり咄嗟に床に右手をついた。その時、右手首に激痛が走り、腫れた。	58	10～29
10	16～17	惣菜課のベルトコンベアー附近を、ゴム製の長靴を着用し歩いて移動していたところ、床に少量の出汁がこぼれていたことに気づかずその箇所を踏んでしまったため、足が滑って転倒し右手を床につき負傷したもの。帰宅後に痛みが増大したが、骨が折れているとは思わず、痛みが引くのを待ち様子を見ていたが、一向に痛みが治まらず耐えられなくなった。	59	100～299
11	13～14	派遣先にて冷凍庫に保存してある油揚げを取りに行った際、足を滑らせて転倒した。転倒した際に頭部、右腕肘部分を負傷した。痛みがあったが出勤した。その後、病院へ受診し、右腕XP撮影の結果、骨に異常はなく、後日改めて受診することとなった。	49	100～299
11	12～13	被災者が利用者様を脱衣所から浴室へ誘導する際に、その利用者様から、ホールから脱衣所に通じる出入口のドアを閉めるよう依頼された為、素足で出入口に向かったところ、出入口の手前のコンクリート床で転倒した。その時、体右側から床に転倒した。	50	10～29
		玄関すぐ右脇の管理室入口のドアを抜けてすぐのところ、玄関でスリッパに履き		

11	8～9	替えて管理室に入室した時、右足が前に滑り、右手・右肩から床に転倒した。スリッパ底の劣化摩耗により滑り止めの効果が損なわれていた。転倒時の衝撃により、右上腕部を骨折した。	83	500 ～ 999
11	11～12	肥料包装業務の現場で、肥料包装用のダンボールを装置を稼働させて、作成及び3ヶ所ある肥料充填設備にダンボールを配っていた。ダンボールを配っている際、ダンボール作成装置のコンベアから、ダンボールが飛び出し続けているのを発見し、慌てて、装置へ向かった。その際、床が濡れていたため、足が滑り、バランスをとるため体勢が崩れ、右前腕を装置のコンベア部の角にぶつけた。	33	1～9
11	21～22	工場内のウレタン製品の製品接着エリアにて接着作業中に、足元を這っていた延長コードを踏んだところ、コードが床を滑ったため転倒した。その際、作業台の角に右脇腹が当たった。翌週の一日は出勤したが痛みがあったため、翌二日間は休み、その後二日間は出勤した。痛みが引かないため後日に受診したところ肋骨を骨折していた。	52	100 ～ 299
11	15～16	鉄道軌道脇で現地確認作業を行っている時、列車接近によりトラフ上で退避を行った。列車通過後、トラフ上から軌道側へ移動する時に足を滑らせ、左膝辺りを負傷した。	62	100 ～ 299
11	11～12	荷物の積み込み作業中に、現場のゴミを回収してゴミ袋からフックを外しに行ったところ、ゴミ袋の持ち手に足を引っ掛け前に倒れ、両手をついたところ、右手捻挫、左手骨折した。	43	500 ～ 999
11	10～11	空調改修工事の屋上にて配管撤去後すぐに機器搬出段取り確認のため、エキスパンドメタルを歩行した時、床開口（直径約25cm）に右足が入り脛を挫創した。	63	100 ～ 299
11	8～9	就業準備のため、地下1階にある更衣室へ向かう階段を下りていた際、足を滑らせ約1.5m下まで転落した。	49	1000 ～ 9999
11	7～8	派遣先において、3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するために、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を	37	500 ～

		滑らせてでん部から転倒し受傷した。		999
11	15～ 16	製造作業中に、金具を左手に持った状態で歩行中、通路に置いてあったプラパレットの上を歩き、降りる時にプラパレットが滑りバランスを崩して転倒した。転んだ際に金具を持っていた左手を床について金具が手のひらに刺さった。	44	100 ～ 299
11	23～ 24	4t車到着車両荷卸し中、荷台内から荷物を台車へ卸す際、車両とホームの間に出来た隙間に左足が挟まり、その際、転倒した。転倒時、左足太腿を強打したものである。	59	10～ 29
11	10～ 11	当社派遣就業先の特別養護老人施設浴室にて利用者の入浴介助中、用意が整ったので利用者を迎えに風呂場から脱衣所に歩いて移動中に排水口の辺りで足を滑らせ後ろに倒れるように転び咄嗟に頭部を守ろうとして、でん部と右手を強打し負傷した。	62	50～ 99
11	1～2	コンベアーに生地を流す作業が終了した為、オペレーターから生地を取り除くためのヘラを持って来るように依頼された。ラインが止まってしまう恐れがあったので急ぎ足で歩いていた為、コンベアーのコーナーの所で滑って転倒する。その際に床に設置してあるゴミ箱の縁に、左脇腹を打ちつけてしまう。	58	100 ～ 299
11	15～ 16	工場内の食品ラインで、パレットから空の重箱をラインに乗せる作業中に、休憩から戻った時に、重箱入りのパレットが溜まってしまっていたので作業を急いだ際に、重箱入りのパレットが通路に飛び出していたために足を躓き転倒し、右膝挫傷・関節血腫及び背部挫傷となった。	49	300 ～ 499
11	17～ 18	本社の敷地内において帰宅の際、ロッカーから出たところに物が置いてあり、躓き転倒した。その時に左腕を骨折してしまった。原因としては、暗くて足元が見えず、物があるのに気付かなかったことである。	47	100 ～ 299
11	9～ 10	大型ガスメーター組立職場にて、下ケースを両手で持ち上げ、作業台まで運搬する際、足元が確認しづらい状態であった為、元々置いてあった木製パレットに右足が躓き転倒した。その時に持っていた下ケースのエッジ部が、左手親指付根付近に当たり、裂傷を負った。	29	10～ 29
	13～	派遣先事業所の運輸倉庫作業所において、昼食後、作業場へ戻る際に雨で靴や地		30～

11	14	面が濡れていたため、リフト通行用の鉄板の上で足を滑らせてバランスを崩し、右膝をついて負傷した。	53	49
11	19～ 20	夜礼の為、第3工場出入口を出て、構内を徒歩で移動中、建物横に2段積みされた木製パレットが置いてあったが、辺りが暗かった為に気が付かず、躓き転倒した。両手から着地し、負傷した。	52	50～ 99
11	14～ 15	工場内で台車から商品の運搬中スロープに商品を荷下ろしする時に、転倒を防ごうと踏ん張った時に、スロープから足を踏み外し右足首を痛めた。	31	100 ～ 299
11	14～ 15	工場内で空になったパイプ台車を折りたたみ保管場所に移動させていた際に、パイプの台車が前方に倒れ同時に本人も転倒した。	26	10～ 29
11	16～ 17	工場内で検品作業を行っている際、製品が入っているケースの傾きを変えるために、高さ30cm程度の踏み台の上に乗って、両手でハンドルを回す作業を行っていたところ、手が滑り、ハンドルを放してしまった。足場が不安定であったため、バランスを崩し、後ろ向きに転倒し、後ろに置いてあった鉄製の製品入れに背中を打ちつけた。	43	500 ～ 999
11	3～4	派遣先にて就業中、会社の敷地内にて一人で、ごみを捨てて戻ろうとした際に、足元のコンクリートの踏み台（高い段差の手前に踏み台があり）に気付かずぶつかり、左膝を打ちつけ転倒した。	53	100 ～ 299
11	12～ 13	出勤し、駐車場から工場へ向かう際、近道を通っていた時に滑りやすい箇所があり、転倒してしまった。この時、体を支えようとして右手を強打してしまった。診察の話では右手首骨折と言われた。	62	300 ～ 499
11	11～ 12	工場600tブランキングラインにてブランク材料を梱包作業中に、パレットが変わったはずなのに、パレット台車が反転機から出て来ないことに気付き、被災者は確認する為に、パレットチェンジャー間に入った。チェーンが空回りして、パレット台車が出て来ないことが分かり、機械を停止させようとした。しかし、被災者は、来た道に戻らずに、パレットチェンジャー操作盤にある非常停止ボタンを押そうと移動した際、足を滑らせて転倒し、動いていたチェーンに右手の人差し指、中指が巻き込まれ被災した。	47	300 ～ 499

11	16～ 17	ホルモン盛り付け業務終了後、フロア清掃をする際作業靴から長靴に履き替え、清掃業務を行おうとした際に、足を滑らせ、後方に倒れ込む時に、右手で身体を支えようとした時に、右手が地面に先につき、その際に右手首を負傷した。	41	10～ 29
11	7～8	支店の現場にて制服に着替えている時、作業靴を半分履いた状態でズボンを穿こうとしたら、ズボンに靴が引っ掛かりバランスを崩して前のめりになって転倒した。その際に右足指が曲がり負傷した。仕事はせずそのまま帰宅後、病院で診療を受けた。	64	30～ 49
11	13～ 14	ピッキング作業中、作業場所を移動しようとしたところ、段差に躓いて転倒し、左肘を床に強打してしまった。	50	10～ 29
11	22～ 23	ウェイターとして就労中、キッチンと洗い場が通じている廊下を、料理を運ぶ際に急いで角を曲がる際に滑り、近くにあったお皿が入っている箱にぶつかり転倒し、左膝を負傷した。	38	50～ 99
12	8・9	出勤時、工場敷地内駐車場に車を止め歩行中、凍結路面で右足を滑らせ転倒しそうになった。その際、右手で身体を支えた結果、右手首を負傷した。	59	300 ～ 499
12	9・10	派遣先の野菜の加工工程にて包装室内にて添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片があったが、気付かず踏んでしまい滑って転倒し左膝を打った。	41	100 ～ 299
12	7・8	農産食品加工工場で、野菜ごみを捨てに行くため、外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もったため（当日は雪が降っていた）、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面についたところ体重がかかり、手首を痛めた。	55	100 ～ 299
12	16・17	配送中に塩ビパイプを指定場所に降ろしている作業中、トラックに戻る際、他の資材にかぶせてあったビニールシートの重石につまずき、両手をアスファルトに強くつき、左手首骨にヒビ、右手首をはく離骨折した。	46	50～ 99
		店舗で清掃作業中、店内に入ってきた子供が、吹き込んだ雪等で濡れていた床で滑って転んだ。派遣会員が転んだ子供をしゃがんで抱き起こした後、立ち上がる		500

12	9~10	うとして派遣会員も足を滑らせ、尻もちをつく形で転倒した。転倒する際に受け身をとろうと、両手を床についた際に激しい痛みを感じたことから、手袋を外してみたところ、左手の出血がひどかったため、すぐに病院を受診し、左手裂傷、左手首骨折と診断された。	72	～ 999
12	2~3	工場内、インタミ／LサイドBラインにて、径360mm、厚さ80mm、重さ4kgのアルミ製自動車部品を切削機にて加工作業を行っていて、床に切削油がこぼれて滑りやすい状況で作業を続けていた。品物を機械から取り出す為、一步踏み出した時に右足首が滑り、右足首を内側に捻って転倒した。	50	100 ～ 299
12	1~2	宅配便の仕分け作業中、ベルトコンベアーに載っている荷物の向きを直す作業中、荷物を取りそこない床に転倒し、その時に左足大腿骨付近を痛めた。	72	500 ～ 999
12	18~19	食品製造工場内で食材冷蔵庫の肉を餃子加工ラインに2人でカートを手押して搬送中に冷蔵庫内で足がすべり、腰から床に転倒して負傷した。	32	100 ～ 299
12	22~23	厨房内にて皿洗いの業務をしているとき、足場付近に立てかけてあった鉄板に足をひっかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	21	500 ～ 999
12	2~3	スポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具の入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくり転倒し、両肘と両膝で四つん這いの格好で転倒した。長靴の靴底は滑り止めがなく、ツルツルした状態であった。	47	100 ～ 299
12	8~9	店内の惣菜の作業場から寿司の作業場に移動する際に滑って転び、右手首を負傷した。当時、床は清掃直後で濡れていて滑りやすい状況だった。	53	50～ 99
12	11~12	3階フロアにて、展示物の調整のため、高さ30cm程の什器に靴を脱いで上がり、作業後、靴をはこうとした際に、乗っていた什器の台が滑りやすかったこともあり、足を踏みはずし、転落して足を骨折した。	30	—
12	5~6	配送センターに於いて空置場に接車後、空番重をトラック荷台からバースへ手鉤棒を使用して後ろ向きで引きずっている際に、バースが雨で濡れていて足が滑り	39	—

		転倒し、番重20枚が受け身を取った右手に落下し、右手中指開放骨折を負った。		
12	16~17	被災者（以下「甲」）は、派遣先において、機内食セット業務に従事していた。甲は、飛行機から返却された空のカートを、作業エリアへ搬送中、カートを4台並べて押しながら搬送していたところ、右手前のカートが車輪不良によりバランスを崩したため、持ち上げようとしたところ、左手前の1台もバランスを崩してしまった。甲は2台のカートが支えきれずに転倒し、倒れたカートの車輪ストッパーを左前脚部に受けて負傷した。	47	100 ～ 299
12	10~11	事務所内にて、書類ファイルを書庫へ戻す為自席から移動した所、床にあるコンセント突起物に左足が突っかかり転倒しないように踏ん張った所、以前に負傷して治療中の左足首を再度捻り負傷した。	33	300 ～ 499
12	10~11	倉庫内にて、梱包された製品を台車からパレットに移す作業をしていた。台車の製品を全て移動した時、右足を台車の上に載せたところ台車が動き、右足を滑らせた時、左足に全体重がかかり、左大腿骨頸部を骨折した。	68	100 ～ 299
12	16~17	作業終了後、手を洗うため作業場から手洗場に向かう途中、2cm程の段差に躓き、前に倒れた。	57	300 ～ 499
12	9~10	派遣先事業所の倉庫現場内にて、作業開始直前に倉庫内の床面に設置してあるパレットに足が引っ掛かり転倒した。ピッキング作業用のプラスチック箱を片手で持ったまま転んだため、胸部と腕を打撲した。	58	300 ～ 499
12	12~13	派遣先工場内にて、包丁で余計な脂を削ぎ落とした豚肉を機械に投入する際、15kg位の豚肉を機械に投入し終え、再度肉を補充しに行く途中、床に落ちていた切れ端と脂を踏んで、腰から転倒した。その際、咄嗟に出した右手を負傷した。	54	300 ～ 499
12	16~17	派遣先である中央センター内にて、食品のピッキング作業に従事中、通路を移動する際に、製品の袋を7袋（合計約2.5kg）抱きかかえるように持っていたため、足元が死角になり、棚から10cm程はみ出していた段ボール箱に躓いて転倒し、右膝を負傷した。	51	100 ～ 299
		冷凍倉庫内で、休憩室へ移動するために歩いていたときに、ゆっくり歩かなくて		500

12	15~16	はならない環境の中、移動を少し急いだことにより転倒し、その際に右手を強く ついてしまったため、右手首を負傷した。	43	～ 999
12	4~5	仕分作業中、鉄骨（高さ30cm）に右足を乗せて乗り越え、左足から空パレットに 着地した際、パレットの天面の窪みに躓いて左足首を捻り、左肘と左手首、その あと左側頭部を床にぶつけた。	46	50～ 99
12	12~13	食堂にて、シンク前で振りかえった際に転倒した。	40	50～ 99
12	16~17	チルド荷捌き場にてカゴ車を押して移動していたところバランスを崩し、前に転 倒した。その際、左手小指をカゴ車と自分の間に入れたまま床で挟み、左手小指 を剥離骨折した。	16	50～ 99
12	7~8	冷蔵庫を運んでいるとき、躓き転倒した際に冷蔵庫が足の甲に倒れた。	69	1000 ～ 9999
12	18~19	お客様の傘を買うため、地下の店舗から階段を上って外に出たときに、店舗と歩 道の境目の大理石の床が雨で濡れていたため、足を滑らせ転倒し、左足を負傷し た。	31	1～9
12	17~18	業務のため駐在している建物に隣接する駐車場にて、駐車していた自身の車両後 方から運転席側に歩いている際、照明は届いていたが、足元は車両または自身の 影が影響して車止めに気がつかず、躓いて転倒した。	45	500 ～ 999
12	16~17	作業現場にて、パレットに積まれていた梱包前の商材をパレットごと動かそうと した際に、近くにあった空のパレットに差してあったハンドリフトを使おうとし た。抜けなかったために他の作業員が代わり抜こうとし、本人にパレットの上に 乗って押さえてもらっていたとき、ハンドリフトを引いた反動でバランスを崩 し、右手をついて転倒した。	59	100 ～ 299
12	15~16	製造終了後の機械清掃中に、充填包装室内の架台上から備品・パーツを両手に 持ってステップを降り、床に足をついた際に右足がそのままスリップし、転倒し た。転倒した際に、左足腓骨を負傷した。	45	100 ～ 299

12	21~22	作業場構内に到着後、下車してセンター内へ向かう道中において、駐輪場付近を通過中、原付バイクのエンジンオイルのような液体が地面に漏れており、それで足を滑らせて尻もちをつき、救急車で搬送された。	39	100 ～ 299
12	18~19	構内に宅配便（小荷物）の引き取りのお客様が来て、構内から荷物を事務所に運ぶ途中、構内にあった台車に気づかず、台車に躓いて転倒した際に右手首を骨折した。	63	100 ～ 299
12	17~18	派遣先にて仕分け作業中に、空になった箱3箱を押していた際、手に持って運べばよかったのだが、床に置いて手で押していたところ、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を負傷した。	66	100 ～ 299
12	16~17	業務で郵便局に郵便物を出しに行った際、道路の端を歩行中、張っていたロープに躓き転倒し、路面に左膝を強打して受傷し、救急搬送された。	51	100 ～ 299
12	19~20	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打して負傷した。	48	100 ～ 299
12	23~24	集塵機の清掃作業で、エアブロー中にバランスを崩して転倒し、右手を床についた際に右手首を骨折した。	61	50～ 99
12	14~15	派遣先事業所の管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れたあと、食器洗浄機から出てくる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつき、背骨付近を圧迫骨折した。	66	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html